公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	山県市ピッコロ療育センター			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	・活動にバリエーションをつけて設定している。 ・好きなことを取り入れることで、様々な活動に取り組めるよう支援している。	・今後も教材研究を行い、活動の種類を増やしていく。
2	・個人情報の取り扱いに十分に留意している。	・毎年、全職員が個人情報の取り扱いに関する研修を受講している。	・個人情報の取り扱いについて、更に意識を高めていけるよう、引き続き職員間で声をかけ合っていく。
3	・子どもの活動等のスペースを十分に確保している。	・毎回個別の部屋が割り当てられ、子どもが安心して過ごせる場所が設定されている。 ・使用する部屋の広さに応じて、活動内容を変えて設定している。	・活動を存分に楽しめるよう、今後も部屋の中の物の配置等もその都度変えていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がある。	・地域の小学校に通っている子どもが多いため、施設としてそのような機会は設定していない。	・今後保護者のニーズを確認し、必要に応じて機会の設定も検討していく。
2	・定期的に通信やホームページ、SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を、子どもや保護者に対して発信している。	・市のホームページの一部のため、施設のページを見つけにくい。	・来年度コドモンを導入し、行事予定や各種マニュアル等がいつでも見られるようにする。 ・自己評価の結果はホームページ上に公表し、公表した際は保護者に知らせる。
3	・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている。	・個別では非常時の避難方法や災害の恐ろしさ等を伝えてはいるが、行事で集まること無いため、実践形式の避難訓練はできていない。	・個別指導で行ったことを、保護者にしっかりと伝える。 ・実践形式の避難訓練を行う期間を、一定期間設定する。その期間に来所されなかった方については、施設として避難訓練を行っているということを保護者に伝える。